

益子図書館だより 第3号

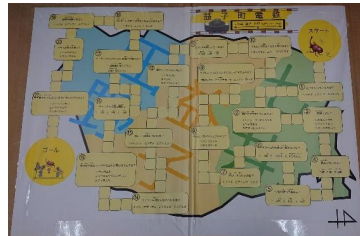
令和3年9月

こんにちは、益子町中央公民館図書室です。7月、8月と全国的に台風や大雨の被害が出ていますが、台風シーズンはまだまだ続きます。いざというときに迷わず動けるように、早めに対策しておきたいですね。図書室でも防災に役立つ本をそろえてお待ちしております。

◇誕生・展示コーナー◇

入口正面のスペースを展示コーナーにリニューアルしました。夏休みに合わせ、農政課の全面協力により実現した第1回目のテーマは、「益子町の生きもの」。ずらりと並んだファイルは、各地区の環境保全会の皆さんが毎年行っている生き物調査の結果をまとめたものです。貸出はできませんが、各地区で見つかる生きものの変化もわかり、調べものにぴったりです。生きものクイズをちりばめたすごろくも登場し、子どもたちの興味を引いていました。

展示コーナーでは、今後も季節や世間の話題に合わせたテーマの本を紹介していく予定です。「禁帯出」の赤いシールが貼られた本以外は貸出できますので、気になる本を見つけたら、ぜひ手に取って借りてみてください。



◇図書室今昔 ~外に出る図書館の話~◇

図書室では、5月から益子町子ども読書の日（毎月第4土曜日）に図書室の外でおはなし会を行い、そこで本を貸し出す出張図書館の取組みを始めました。子どもの本を中心に200冊程度の本を持っていき、ご来場の方にはその場で読書を楽しんだり貸出カードを作って本を借りていったりご利用いただいています。

そこで思い出すのは、4月に行ったワークショップ「図書館年表」で伺った「昭和45年月ごとに本が自治会へ来た」というお話です。出張図書館にも通じるこの事業は、どのようなものだったのでしょうか。年代をたよりに『広報ましこ縮刷版 第1号』をめくると、第47号（昭和44年6月）に「みなさんの移動文庫開設」という記事がありました。

「公民館における図書室利用の状況を基にして最近の続（原文ママ）書傾向をみてみますと、分類別では純文学から大衆文学に移行し、利用者数も減りまして極く一部の愛読者に限られてきていることがはっきりわかります。（中略）昭和四十四年三月、待望していた広報車が中央公民館に配車されたことを機会に、懸案であった移動文庫を開設して読者層を拡充しようという（原文ママ）ことになりました。まず、遠隔の地にある約五十の部落及び希望する各学級、講座を対象に一定期間、貸付けするわけでありました。」との記事に、セダンタイプの車のトランクに積まれた本に集まる人々の写真が添えられています。

移動文庫がどのくらい続けられたのか、この記事からは窺えませんが、半世紀後にも記憶に残るほど、町民の皆さまに親しまれるサービスとなったのでしょうか。出張図書館も皆様に愛されるサービスを目指し、これからも続けて行きたいと思います。



◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 図書室カレンダー ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

9月

10月

月	火	水	木	金	土	日
30	31	1	2	3	4	5
6 休	7	8	9	10	11	12
13 休	14	15	16	17	18	19
20 祝	21 休	22	23 祝	24	25	26
27 休	28	29	30	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10

月	火	水	木	金	土	日
27	28	29	30	1	2	3
4 休	5	6	7	8	9	10
11 休	12	13	14	15	16	17
18 休	19	20	21	22	23	24
25 休	26	27	28	29	30	31
1 休	2	3	4	5	6	7

平日（火～金） 朝9時から夜7時まで 土・日・祝日 朝9時から夕方5時まで

※緊急事態宣言の発令中は学習机はご利用いただけません。

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 新着図書 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

分類	本のタイトル	書いた人	出版社
大人の本			
料理	野菜まるごと冷凍レシピ	沼津りえ／著	主婦の友社
芸術	世界の美しい民藝	工藝舎／著	グラフィック社
小説	アンソールディスタンス	金原ひとみ／著	新潮社
小説	すみれ荘ファミリア	凧良ゆう／著	講談社
こどものほん			
えほん	もっちゃんもっちゃんもうもっちゃん	土屋富士夫／作・絵	徳間書店
いきもの	てのひらかいじゅう	松橋利光／文・写真	そうえん社
ものがたり	けんだましようぶ	にしひらあかね／作	福音館書店
ものがたり	みつばちと少年	村上しいこ／著	講談社

ほかにもたくさんはいました。

◇あなたとつくる新しい図書館◇

◆7/10(土)講演会のご報告◆

須賀川市民交流センターtetteの元センター長である佐久間貴士氏をお招きし、tette立上げのお話をうかがいました。tetteは東日本大震災により甚大な被害を受けた中心市街地の再生と活性化をめざして計画が進められました。その整備室長に就任された佐久間氏ですが、なんと当初は図書館に愛情がなかったそうです。それが、視察で素晴らしい図書館を数多く見るうちに、「こんなところなら行きたい」と考えが変わり、固定観念を捨てて良いものをどんどん受け入れていった結果、常に利用者でにぎわうtetteができあがったのです。時にユーモアを交えながら熱く語るその姿は参加者の胸に迫り、アンケートではたくさんのご感想をいただきました。

以下、その一部をご紹介します。

- 「固定概念をなくして、人々が求めるような施設にすることが大切だと分かった」(10代)
- 「アドバイザー、設計、施設長、市民 全員が関わっていく重要性がよくわかった」(60代)
- 「図書館の考え方が変わるようなワクワクな期待を持ってました」(70代)

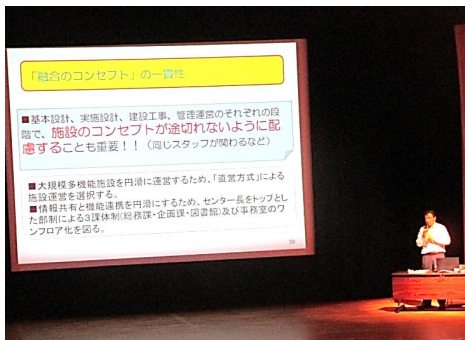
また、ご質問もいただいています(回答はtetteホームページを参考にまとめさせていただきました)。

Q.tetteの名前の由来は?

A.全国から1,317件の応募があり、選考により決定しました。「手と手」、また、幼児語で手を示す「てって」からとり、みんなが手と手をつないで笑顔があふれるようにとの想いが込められています。

Q.小中高・大学生、16歳以上の意見を聞く機会がありますか。

A.センターの運営に加しても参加してもらうための個人登録制ボランティア組織「tetteパートナーズクラブ」があります。応募者は面談と養成研修の後に登録となり、20歳以上の方は「tetteクラブ」、10代の方は「tetteティーンズクラブ」として活動してもらっています。ティーンズクラブには4月現在で22名の方が登録されています。



◆7/20(火)策定委員会のご報告◆

第5回となる委員会では、これまで話し合ってきたことを基本構想に落とし込んだ計画案を基に検討を行いました。頭を悩ませたのは、「益子ならではの」をどう表すかです。益子の風土を、文化を、想いを体現する図書館には何が必要なのか、計画の根幹をなす大事な部分なので、次回も引き続き検討していきたいと思っております。

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ イベント情報 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

9月のおはなし会・イベントは中止します。10月以降も新型コロナウイルス感染拡大状況により、変更・中止することがあります。イベントの変更・中止情報は町の公式ホームページ及び公式Facebookで随時お知らせいたします。

ホームページ <http://www.town.mashiko.tochigi.jp>

Facebook <https://www.facebook.com/town.mashiko/>

◆かたつむりの会の出張おはなし会◆

図書室で大人気のかたつむりの会のよみきかせが、毎月第4土曜日の「益子町子ども読書の日」におうちの近くで楽しめます!本の出張貸出もあるので、図書利用券を持ってお越しください。まだ図書利用券を作っていない方も、その場で作って借りられますよ。



○10月23日(土)

①午前10時～ ②午前11時～ 北公園

③午後1時30分～ ④午後2時30分 南運動公園

※それぞれ30分くらいのプログラムで、①～④はすべて違う内容です。

※雨が降ったら、会場を変更して行きます。

北公園 → あぐり館

南運動公園 → 改善センター

◆図書室であそぼう!◆

牛乳パックなどの身近な材料を使い、就学前のお子さまでも楽しめる簡単な工作や科学あそびを行います。

毎月第2日曜日 午前10時～

場所: 中央公民館図書室

定員: 申込先着順 10名程度 (窓口、電話にて)

(幼児のご参加には保護者の付添いをお願いします。)



○10月10日(日)

申込: 10月2日(土) 午前10時～

工作「ひらひらおぼけ」



【お問合せ先】
益子町生涯学習課(益子町中央公民館内)
TEL:0285-72-3101
FAX:0285-72-3110
✉syougai@town.mashiko.lg.jp